

# 「養身有為」

丈夫な体をつくり、常に勉学を怠らず、  
世のため人のために役立つ、実行力のある人になろう



## 「二学期を終えて・・・」

いよいよ二学期が終わりになり、子どもたちが待ちに待っていた冬休みが始まります。二週間のお休みですし、ご家族でいろいろと楽しい計画がおありのことと思います。この機会に冬休みならではの体験をたくさんさせてあげてほしいと思います。年末は、猫の手も借りたいほどの忙しさだと思います。子どもたちに出来ることはどんどんお手伝いさせてあげてください。



また、年始めにはよその家を訪問したり、お客様をお迎えしたりする機会が多くなるかと思えます。その学年なりの礼儀（相手にいやな感じを与えない接し方）も身に付けさせていきたいものです。有意義な冬休みとなることを願っています。

最後に、太田小学校の子どもたちが元気で、いい顔で学期末を迎えることができたのも、ご家庭での支えがあつてのことと心から感謝申し上げます。



## 「通知表について」

「通知表」は、学習や学校での生活の評価をお知らせするものですが、児童のもっている力の全ては「通知表」だけでは十分に伝えられません。太田小学校では、通知表をきっかけとして、子どもたちの頑張りを認め、やる気を引き出す材料としていきたいと考えています。

また、担任と保護者が子どもたちの成長に対して、同じ方向を向いて、同じような声かけができることもめざしています。是非、ご家庭でも、子どもたちの頑張りに対して、ほめたり、励ましたりして、次へのやる気につなげていただけますよう、よろしくお願いいたします。

## 「除夜の鐘・・・って知っていますか？」

この年の瀬になると、自分がまだ、学級担任だった頃、この時期になると決まって、次のような話をしてあげたことを思い出します。それは・・・『除夜の鐘』についての話で、こんなやりとりだったように記憶しています。



「今日は、『除夜の鐘』の話をするよ。早速だけど、『除夜の鐘』っていくつ突くか知っている・・・？」と質問したことがあり、「108つです」という答えが返ってきました。

そして、さらに「どうして、108つ突くか知ってる・・・？」と聞いたところ、誰も知りませんでした。そこで、その意味を知っている範囲内で話してやりました。

『除夜の鐘』が、大晦日に突かれるのは知っているんだけど、なぜ、108つ突くのだろう。それは、仏教という宗教から生まれたもので、人間は108つの煩惱(ぼんのう)、つまり、正常な心を惑わす悪い心が人間には108つあって、その煩惱を追い払うために、108つの鐘を突くんだよ」と、話してやり、どうやら子どもたちも納得していました。

そこで、「じゃあ、どうして、108つなんだろう」と、さらに深い質問をしてみました。「わかりませんよ～」と、子どもたちの声。実は、仏教の中の本当の理由は、自分も分からなかったのですが、以前、「雑学の本」に書いてあったことを話してやりました。

「どうして、108つかというと、人間というものは、生きるために『四苦八苦』しているんだ。『苦』は苦しいという意味だけど、この『苦』を『九』と置き換えて、『九九の計算』をしてみると、『 $4 \times 9 = 36$ 』、『 $8 \times 9 = 72$ 』になり、36と72を足すと、なんと『108』になるんだよ。不思議だろう。でも、これは、偶然らしいよ」と話してやりました。子どもたちは、偶然に驚き、不思議そうな顔をして感心していました。

2018年も、あとわずかです。どうか、太田小学校の全てのご家庭にとって、明るい一年になりますように、心からお祈りしております。